



# IUFRD-J NEWS

— No. 52 (1994.8) —

熱帯林の成長と収穫に関するユフロ国際シンポジウム

## 参加者募集

日 時：1994年9月27日（火）、28日（水）

場 所：東京都府中市 東京農工大学

ラテンアメリカ、アジア、アフリカの熱帯林の成長とそれに関わる研究成果が報告されるシンポジウムが間もなく開かれます。10ヶ国程の研究者の参加が予定され、十分な討議を行う実質的な研究集会になるように企画しています。興味をお持ちの方の参加を歓迎します。

シンポジウム参加費：1,000円

（希望により懇親会5,000円、後で印刷されるプロシーディング5,000円）

申込先：〒183 府中市幸町3-5-8

東京農工大学 農学部 木平 勇吉

電話 0423-64-3311

FAX 0423-64-7812

「第3回太平洋地域木材解剖学大会」の開催について

3rd PRWAC (Pacific Regional Wood Anatomy Conference)

—太平洋/アジア地域における木材解剖学関係の研究発表および討論のために—

主催 : IAWA (International Association of Wood Anatomists)  
IUFRO (International Union of Forest Research Organization) S5. 01, NZFRI (New Zealand Forest Research Institute)

大会運営委員 :

Dr. Brian Butterfield : University of Canterbury

Mr. Lloyd Donaldson : Forest Research Institute

Dr. Adya Singh : Forest Research Institute

Ms Rowan Sweeney : Forest Research Institute

日時 : 1994年11月20日(日) ~ 24日(木)

場所 : Rimu Room, New Zealand Forest Research Institute, Rotorua, New Zealand

内容 :

招待講演 : Prof. Mishka Bariska (South Africa)

Prof. Ken Shimaji (Japan)

下記の話題に関する講演およびポスターによる研究発表。

1. 木材構造/材質/木材特性
2. 木材形成
3. 木材のトポケミストリー
4. Ecological Wood Anatomy (樹木生態学的木材組織学)
5. Systematic Wood Anatomy (樹木分類学的木材組織学)
6. Functional Wood Anatomy (機能的木材組織学)

一般講演には15分間の講演と5分間の質疑応答の時間が与えられます。

申込要領:

参加登録期限: 1994年8月1日に参加申込用紙および諸費用(NZFRI宛銀行為替)必着。

参加登録用紙: 研究発表申込, 宿泊申込。

諸費用支払: 参加登録費 NZ\$ 160 (8月1日以降は NZ\$ 200), 宿泊予約金 NZ\$ 50, 懇親会費 NZ\$ 45。

研究発表要旨: IAWA Journal Vol. 13 No. 3の書式。研究発表要旨の原稿も, IAWA Journal掲載のため, 8月1日の期限までに提出のこと。

申込, 問い合わせ先:

Mr. Lloyd Donaldson  
NZ Forest Research Institute  
PB 3020, Rotorua  
New Zealand  
FAX +64 7 347 9380  
e-mail DONALDSL@TAWA.FRI.CRI.NZ.

講演論文集を1995年前半にNZFRIで刊行予定です。講演およびポスターによる研究発表の講演論文の原稿は大会最終日までに提出すること。

3rd Circularは参加登録者に送付されます。

なお, 参加登録用紙, 2nd Circular, 宿泊施設案内は森林総合研究所木材利用部組織研究室, 藤井智之(TEL 0298-73-3211 内線 574, FAX 0298-74-3720)にもあります。

## 平成5年度 IUFRO-J 機関代表会議報告

表記の会議が、例年の通り日本林学会期間中の4月5日、東京農工大学農学部本館2階第2会議室において開催された。出席はA会員17機関21名、B会員6機関6名であった。

初めに幹事長が開会をつけ、幹事長と議長の交替が報告され承認された。続いて議長の「ユフロ-J」はユフロの活動に協力するため、相互の連携と情報交換の場として設けられており、森林に対して世界の関心が高まっている現状をふまえ、ユフロ-Jの役割も大きくなっているなかで、活動はささやかであるが重要なので協力をお願いしたい」との主旨の挨拶があり、議長の司会で議事に入った。

## &lt;議事&gt;

## 1) 平成5年度事業報告

## ① IUFRO-J Newsの発行(各1300部)

No. 49 (1993年6月12頁)

No. 50 (1993年11月12頁)

No. 51 (1994年3月10頁)

## ② 会員の現況(H6.3.31現在)

A会員 32機関 934名 前年に比べ15減

B会員 18機関 24口 変わらず

C会員 21名 前年に比べ4増

## 2) 平成5年度会計報告

## 1) 一般会計収支決算報告(別掲の通り)

## 2) 特別会計収支決算報告(別掲の通り)

## 3) 会計監査報告

ユフロ-J監事小泉 孟氏欠席のため、幹事長が監査報告書を代読し承認された

## 監 査 報 告 書

平成5年度ユフロ-J事業会計について監査を実施した結果、各種帳簿並びに証拠書類はいずれも、正確に整理・記録されており、本件経理は適正であったことを認める。

平成6年3月30日

ユフロ-J監事

日本林業技術協会 常務理事

小泉 孟 印

## 3) 平成6年度事業計画案

## 1) IUFRO-J Newsの発行

No. 52, No. 53, NO. 54,

## 2) その他

## 4) 平成6年度予算案

## 1) 一般会計予算案(別掲の通り)

## 2) 特別会計予算案(別掲の通り)

## 5. その他

議長から「IUFRO-J Newsの発行は、活動の大きな位置づけとなっており、研究集会の案内、集会参加報告など活動に関する情報をできるだけ多くお寄せ願いたい」との要請がなされた。

佐々木 IUFRO 理事から、ブルキナファソ理事会の紹介がされた。その内容はおおよ次のようである。「IUFRO-Jからユフロファンドへの拠出した金額はIUFROにとって決して少ない金額ではなく、しかも早めに出したのがよかった。これは会費から出したもので、寄付や政治機関などによるものではないことを説明して感謝された。ファンドは途上国のユフロの活動を取込みたいと始められたもので、フィンランドも資金集めを始めているが思うように行っていないようだ。

また、SPDCは元理事の小林富士夫氏、浅川澄彦氏などの努力によって外務省が支援するようになったもので感謝されている。バイオリフォールは、熱帯林再生の基礎研究セミナーで、IUFRO-Jの活動の一部として若い研究者がやっているもので関心を集めており、タンペレでも会議を行うことを企画している。

ヨーロッパで、ユフロの中に地域グループを作りたいという動きが出ているが、地域としては政治的な動きも出ているところがあり難しい面もある。日本のように政治的な色彩なしにやっている国は少ない。

会費の支払い状況は、日本の未納機関は少ないが、途上国の中には未払いの機関があり、中には3年も未払いの機関もあるために、その一部を台湾が援助している。

タンペレの大会についてはわかり次第お知らせする。

続いて、木平理事より「理事会に出席するとこのようにいろいろなニュースが入ってくるので大事なことである。来年は理事の任期が切れるので誰か出て欲しい、適格者がいれば周囲ができるだけサポートして行く必要がある」との意見が出された。

最後に、IUFRO-J機関代表会議のために、周到な準備をして下さった、第105回日本林学会大会運営委員会にお礼を申し上げます。

## 平成5年度一般会計決算

## (収入の部)

科目	予算額	決算	備考
前年度繰越金	544,878	544,878	
会費			
4年度未収分	93,000	93,000	前年度未収分は全部納入された
5年度会費	1,084,000	953,000	
A会費	948,000	828,000	
B会費	120,000	105,000	
C会費	16,000	20,000	前納2,000
雑収入	3,000	2,238	普通預金利息
合計	1,724,878	1,593,116	

## (支出の部)

科目	予算額	決算	備考
情報活動費	700,000	517,935	J-ニュース印刷費(注1)
会議費	100,000	124,280	
旅費	600,000	0	(注2)
雑費	50,000	8,798	文具代、葉書、払込手数料
次年度へ繰越	274,878	942,103	
合計	1,724,878	1,593,116	

(注1) J-ニュースの頁数が少なかったのと原稿のフロッピー化による経費節減策によって少なくなりました。

(注2) 理事会出席旅費は他より支出されたので本年度は支出なし。

## 平成5年度特別会計決算

## (収入の部)

科目	予算額	決算
定期預金 A	2,646,455	2,734,317
定期預金 B	1,432,587	1,480,556
小計	4,079,042	4,214,873
定期預金利子	140,000	(135,425)
普通預金	408,011	408,011
合計	4,627,053	4,622,884

## (支出の部)

科目	予算額	決算
IUFRO-Fund 拠出	10,000ドル	1,037,500
金手数料		8,200
繰越金		3,577,184
合計	10,000ドル	4,622,884

## 平成6年度一般会計予算案

## (収入の部)

科目	予算額
前年度繰越金	942,103
会費	
5年度未収金	112,000
6年度会計	1,075,000
A会費	935,000
B会費	120,000
C会費	20,000 (前納1名)
雑収入	2,000
合計	2,131,103

## (支出の部)

科目	予算額
情報活動費	700,000
会議費	100,000
旅費	600,000
雑費	50,000
予備費	681,103
合計	2,131,103

## 平成6年度特別会計予算案

## (収入の部)

科目	予算額
定期預金	2,734,317
定期預金利子	46,483
普通預金	842,867
合計	3,623,667

これからの研究集会予定 (IUFRO News Vol. 23 No. 2 より)

IUFRO 研究集会

Division 1

S1.03-01 (森林気象学・気候学): Atmospheric Influences on Growth (成長に対する大気の影響) / 延期 (1995), Sault Ste. Marie, Ontario, Canada

P1.16-00 (生物多様性): Measuring and Monitoring Biodiversity in Tropical and Temperate Forests (熱帯と温帯における生物多様性の測定とモニタリング) / Aug 28-Sep 8 (new date!) 1994, Chiang Mai, Thailand

S1.08-00 (野生生物とその生息地): Ungulates in Temperate Forest Ecosystems (温帯林生態系の有蹄類) / Apr 23-27 1995, Wageningen, Netherlands

S1.04-00 (自然災害); Erosion Control Engineering Society Japan: Sabo Symposium: Hydrology and Sediment Problems in Volcanoes (砂防国際シンポジウム: 火山の水文と砂防) / Aug 28-30 1995, Tokyo, Japan

P1.10-00 (ブナの育種と造林): International Symposium on Beech (ブナに関する国際シンポジウム) / Oct 1-8 1995, Lviv, Ukraine

Division 2

S2.02-10 (ポプラの産地と育種): DNA Finger-printing of Populus for Clonal Identification (クローン識別のためのポプラ DNA フィンガープリント) / Aug 9-12 1994, Seattle, Washington, USA

S2.02-10 (ポプラの産地と育種): Poplar Biology-Its Implications for Management and Conservation (ポプラの生物学—その管理・保全における意味) / Aug 21-25 1994, Seattle, Washington, USA

S2.01-12 (樹冠生産過程); S2. 01-15 (固体レベルの植物生理学); NZ Forest Research Institute; Manaaki Whenua Landcare Research; Lincoln University: Interactive Environmental Effects on Forest

Stands (森林に対する環境相互作用) / Feb 5-13 1995, Canterbury, New Zealand (travelling workshop)

S2.02-09 (ユーカリの産地と育種); P2. 02-01 (ユーカリの生産力): Eucalypt Plantations: Improving Fibre Yield and Quality (ユーカリ造林: 繊維の収量と質の改善) / Feb 19-14 1995, Hobart, Tasmania, Australia

P2.04-00 (種子問題): Recent Changes in Tropical Tree Seed Technology and Planting Stock Production (熱帯樹種の種子技術と苗木生産の最近の変化) / Jun 12-14 1995, Haad-Yai, Songkhla, Thailand

S2.02-05 (ダグラスファーの産地と育種); S2. 02-12 (シトカ・トウヒの産地と育種): Joint Meeting (合同会議) / Jul 29-Aug 5 1995, France and United Kingdom

S2.02-07 (カラマツの産地と育種): Working Party Meeting (作業部会会合) / Jul 30-Aug 5 1995, Sweden

P2.04-00 (種子問題): Innovations in Tropical Tree Seed Technology (熱帯樹木の種子技術の革新) / Sep 5-15 1995, Arusha, Tanzania

Division 3

S3.02-03 (苗畑作業): Swedish University of Agricultural Services; Private Forest Management Assoc., Helsinki, Finland: Afforestation of First Rotation Sites (第一目伐期の造林) / Aug 1-6 1995, Garpenberg Sweden; Helsinki, Finland

Division 4

S4.02-03 (継続的森林資源量調査): Minimum Data Requirement for Sustainable Forest Management (持続可能な森林経営のために必要な最小データ) / Nov 7-9 1995, Stellenbosch, South Africa

S4.02-00 (森林資源量調査とモニタリング): Urban Forest Inventory and Planning (都市林調査と計

- 画) /Feb or March 1995, Location to be decided
- S 4.04 - 02 (経営経済学) : Accounting - New Approaches to Cost and Results Accounting, Profit and Loss Accounting, and Controlling (経理学—経費と成果の経理, 利益と損失の経理ならびに管理) / Aug 7-12 1995, Tampere, Finland (World Congress)
- S4.01-00 (測定, 成長, 収穫量) : Modelling Forests in a Complex Environment Data Requirements for Decision Making (複合環境下での森林モデルの作成論議のための必要データ) /Aug 7-12 1995, Tampere, Finland (World Congress)
- S4.02-01 (熱帯における資源データ) : Resource Inventory Techniques to Support Agroforestry Activities (アグロフォレストリー活動支援のための資源調査技術) /Oct 1995, Palampur Himacmal Pradesh, India
- S4.02-02 (多目的資源量調査) : How to Gather, Evaluate, and Use Ethno-biological Data (民族生物学データの収集, 評価と利用) /? 1996, Tanzania
- Division 5
- P5.05-00 (年輪解析) : Periodicity of Growth in Tropical Trees (熱帯樹成長の周期) /Nov 16-18 1994, Kuala Lumpur, Malaysia

ユフロ活動協力基金運営委員会より

## 「ユフロ活動協力基金による助成募集の結果について」報告

IUFRO-J News No. 50 号誌上において、「ユフロ活動協力基金による助成募集」を実施しましたところ、下記の応募が寄せられました。

1. 国際研究集会関係 2件
2. 研究集会関係 5件

過日、ユフロ活動協力基金運営委員会で慎重審議をいたしました結果、助成対象として次の項目が決定いたしました。

1. 国際研究集会関係  
1) 第4回ユフロさび病部会国際会議（主催団体：ユフロマツさび病ワーキンググループ、代表者

森林総合研究所 金子 繁 科長)

- 2) 熱帯林の成長と収穫に関するユフロ国際研究会（主催団体：日本森林計学会、代表者 東京農工大学農学部 木平勇吉 教授）
2. 研究集会関係  
1) 山岳地の森林作業に関する国際林業研究機構連合、中国東北林業大学及び国連食料農業機構合同セミナー（招待発表題目：山岳林の経営基盤整備のための AHP モデルを導入した多属性意志決定システム、三重大学生物資源学部 芝 正巳 助教授）

### 事務局からのお願い

皆様のご協力により「IUFRO-J News」の年3回発行も順調に進んでまいりました。さらに充実させるために、機関代表会議での議長の要請にもごさいますように、研究集会の案内、集会参加報告等の活動に関する情報をお寄せ下さい。相互の連携と情報交換の場として「IUFRO-J News」の活用をお願いします。IUFROに関する情報なら、文章の長短を問わず歓迎します。奮ってご投稿下さるようお願いいたします。

### 会費納入のご案内

今年度（1994.4.1～1995.3.31）のIUFRO-J会費の納入を受け付けています。納入方法は今までと変わりませんが、

郵便振替口座は「新処理システム」に移行しますので下記のように変更になります。

郵便振替：(現) 東京 9-159224  
IUFRO-J 事務局  
(新) 00190-3 159224  
IUFRO-J 事務局

銀行口座：関東銀行牛久支店 普通預金 No. 697583  
IUFRO-J 事務局 小林 一三

請求書、見積書等が必要な場合は、書式等を含めてお知らせ願います。郵便振替の場合は指定用紙の使用により振込料は無料になります。ご入用の方はお知らせ下さい。

IUFRO-J News No. 52 平成6年8月5日  
(編集・発行)  
国際林業研究機関連合日本委員会事務局  
茨城県稲敷郡基崎町松の里1 森林総合研究所内  
TEL 0298-73-3211 (232)